

+研究課題番号	3-2101
研究課題名	リチウムイオン電池等の循環・廃棄過程における火災事故実態の解明と適正管理対策提案
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	寺園 淳

1. 委員の指摘及び提言概要

社会的に大きな課題となっている LIB 火災事故実態の把握が、多くの定量的情報とともになされており、大きな成果と言え、高く評価したい。製品から処理までのフロー、各段階での対策、火災発生メカニズムなど、必要な情報が確実に得られる計画となっており、それぞれの方法も結果も明確である。統計データや物質収支データが丹念に取られている。発火原因の探究も良い。対策についてもある程度の方向性が見えてきている点は評価したい。火災のリスク、対策コストの緻密な推定などを通じて、費用対効果の高いガイドラインの策定や、環境政策への貢献が期待される。対策の基本は、動脈へのフィードバックや協調対策の方向であろうが、対策の社会システムを構成するパーツに関連する研究要素は多く、LIB 混入防止や破砕に行かない対策を打つといった静脈系の対策を含めて、制度設計につながる社会システムのデザインといった幅広の検討を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S